

釧路公立大学の 学生との意見交換会

2026.7.22



目 次

釧路公立大学の学生との意見交換会 結果概要	1
釧路公立大学の学生の感想	3
釧路公立大学の学生へのメッセージ	7

釧路公立大学の学生との意見交換会 結果概要

釧路市議会では、釧路市議会基本条例に定められた「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指し、市民と議員が自由に意見交換する場として、2018年度(平成30年度)から、各団体と意見交換を行う『意見交換会』を開催しています。

このほど、釧路公立大学より、釧路市議会の見学及び市議会議員との意見交換を実施したいとの申し出があり、学生との対話を通じて、釧路市議会の存在と役割、市政への関心を高めてもらうため実施しました。

1 開催日時及び場所

日時 2026年(令和8年)7月22日(水) 11時20分～14時50分

場所 釧路市議会 議場 他

2 参加者

(1) 釧路公立大学 学生 53名

(2) 釧路市議会 12名

役職等	氏 名	所属会派
議長	畑 中 優 周	無所属
副議長	松 尾 和 仁	市民連合議員団
議会広報広聴特別委員長	板 谷 昌 慶	市民連合議員団
議会広報広聴特別副委員長	夏 堀 めぐみ	自民市政クラブ
議会広報広聴特別委員	藤 井 若 菜	創志会
議会広報広聴特別委員	松 原 慶 子	公明党議員団
議会広報広聴特別委員	小 山 秀 人	日本共産党議員団
	草 島 守 之	自民市政クラブ
	河 合 初 恵	公明党議員団
	村 上 和 繁	日本共産党議員団
	木 村 勇 太	市民連合議員団
	宮 田 団	市民連合議員団

3 プログラム

- (1) 開会
- (2) 議長挨拶
- (3) 参加議員紹介
- (4) 市議会の概要説明
- (5) 議員 2～3 名と学生（11～15 名程度）による、約100分の座談会を実施。
※グループを入れ替えながら 2 回実施。（それぞれ約50分）
- (6) 議会広報広聴特別委員長総括
- (7) 閉会（記念撮影）



釧路公立大学の学生の感想

- ・ 自分が意見を言っても聞いてもらえないものだと思っていたので、今回あのように一人一人に質問して答えてくれてとても嬉しかった。釧路外から来た人は市役所にあまり行く機会がないのでこのような機会を設けていただけるのはとてもありがたいと感じた。
- ・ 市議会の外観や内装、設備など施設にはどのようなものがあるのか、どのような役割の場所があるのかなどを詳しく知ることができてよかった。また、実際に議員さんの話などを聞いてみて現在どのような課題があるのか、どのような活動を普段しているのかなども聞けて、貴重な体験になりました。
- ・ 釧路が地元なものもあって他の生徒たちよりもわかっている話がいくつかあり、楽しかった。水道代の話や、道路の話など18年間釧路で過ごしていて初めて知ることもいくつかあったので聴けてよかった。市議会の人たちは皆さん堅苦しいものだと思っていたが、とても心優しく対応してくださって話しやすいように雰囲気を作っていたいたり、話を振っていただいたりなど、とても楽しい時間を過ごさせていただいて嬉しかった。今後も続けて欲しい。
- ・ 今回の市議会訪問を通して、特に印象に残ったのは最後に行った話し合いのことです。その中で一人一人生活の中で困っていることやこうしてほしいということを話していて、自分では気づいていないけど確かにというような意見が出ていて面白かったと感じました。また、その中のいくつかの問題については市議会さんの方ですでに動いてくれていることが分かって、すごく良かったです。
- ・ 市議会議員の仕事という、何となくイメージしやすくも詳しくは知られていない事を知る機会が得られてとても貴重な時間を過ごせました。正直、良い意味でイメージと異なる部分がたくさんあったり、釧路に対する熱量が感じられたりと、これから過ごしていく上で頼りに出来るなと感じました。今後は私も一市民として協力したいです。

- ・ よくテレビで見るような場所でいろんなお話を聞けてすごかった。市議会では市民の生活に関わる様々な話し合いが行われていることが分かった。議会の方々は、市民の意見を代表して発言するという役割を担ってくださっていて、責任感を持って活動している方々がばかりだと思った。生活でなんか困ったことあったらいつでも電話してねと言ってくださり、釧路での生活を始めてまだ半年も経っていないのでとても心強かった。普段体験することない貴重な体験できて、市議会を身近な存在に感じるようになった。
- ・ 市議会がどんなことをしているかを知れる貴重な機会が良いと思った。
- ・ 初めて市役所に行ったが、意外と広かった。市議会議員の方との対話では、自分の聞きたかったことや意見を言うことができたので良かった。議員の方々が普段どんな仕事をしているのか、具体的な活動などを知ることができた。いまのところ、大学卒業後は地元に戻ろうと思っていたが「釧路にいてもいいかも」なんて思ってきた。これからも、市民が住みやすい環境を作っていってほしい。
- ・ 市議会の人達は議会を中心に活動していたと思っていたが意外と現場に行っ道路の状況確認などや市民の話を聞いていたりしていて意外だった。
- ・ 自分の意見を市議会で伝えることができて有意義だった。他の人の意見も聞けて新しい視点が見つかった。



- ・ これまでの人生で市議会というものには関わりがなく、身近に感じることはありませんでした。今回訪問して、市議会議員は釧路市を大切に思い各々が精力的に活動していることが分かりました。また、釧路の現状を通じて様々な意見交換ができたことは、とても貴重な経験になりました。駅前の景観は僕が釧路に来た時も少し残念だったので、町の第一印象のためにも改善して欲しいです。
- ・ 市議会の人と熱い意見交換ができてよかった。自分たちが出した意見が反映されたら嬉しい。時間が短くもっと話し合いの時間があればよかったと思った。
- ・ 市役所内見学でどのような仕事をしているのか、どのような役割を果たしているのかをよく知ることができました。私が思う何倍も釧路市の生活について考えられていて驚きました。意見交流会ではまちづくりについて議員さんがどう思っているのかリアルな意見や考え方が知れて良かったです。私が難しく感じることを簡単な言葉で表現していたり、日本全体の経済の流れから現在の動向を述べていたりしていてすごいなと思いました。堅苦しいイメージがありましたが実際話してみてイメージが大きく変わりました。一番市民のことを考えてくれている人達なのだと気付きました。
- ・ プロ相手に大学生が実際に思っていることを伝えられたことは良かった。議員さんの話を聞けてない人が多かったのもっと真剣に聞いて議論をしたかった。
- ・ 今回の市議会見学で、実際の議場や普段どのような話し合いをされているのかを知ることができて良かった。自分は釧路市出身であるけれど、市議会については全然知らなかったもので、これからの釧路市を考える上で非常に身になった。釧路市のこれからの難しい問題はたくさんある中で、どのように打開していくかを実現性も含めて考えていければいいと思った。
- ・ みんなで考えをまとめてから市議の方々に伝えるのがよかったなと思った。まとまっていない状態での意見交換会だったこともあり、いろんな意見が飛び交っていた。それもありだなとは感じたが特定の人だけが意見交換をしていたのもあったのでみんなで話し合えるほうがよかったと思った。バスの件は前向きな意見が聞けたのでよかった。

- ・ 市議会議員も方々のみ話したり、こちらが一方的に意見を言って終わりにならず、相互にしっかりと意見交換や議論ができた点がとても良かったのではないかと感じた。また、1人だけが意見を言うのではなく1人一回程度は質問や発言できたところも全員で議論に参加する一因になってとても良かったと感じた。しかし、今日先生のおっしゃった通り一部マナーが欠如する部分が少なからずあったのも事実であるし、遅刻等もみられたのはゼミ生全員で改善していくことが必要だと改めて感じた。
- ・ 市議会の方とお話をして釧路がもっとこうしたらいい、ああしたらいいなど活発に意見を出しながら交流できたと思います。しかし、意見を言っただけでそのために財源はどこから引っ張ってくるのかなど要望の実現に向けてどうすればいいのかを考えられていなかったのも、プロセスもしっかりと大切にしながらこれからの大学生活の勉強に取り組み、活かしていきたいと思います。

どんなに些細な意見や質問でも、「これは、こう言う理由で実現できない」や「こうすれば、もしかしたら実現に近づくかもしれない」など、具体的に答えてくれたので、とても有意義な意見交換会になったと思った。



釧路公立大学の学生へのメッセージ

畑中 優周 議員（釧路市議会議長）

釧路市議会との意見交換会に参加していただき、ありがとうございました。

議員と学生の皆さんが同じテーブルを囲み、率直に意見を交わすことは、議会にとっても貴重な機会です。皆さんからいただいた意見や気づきには、これからの釧路のまちを考えていく上で、大切なヒントがたくさんあったと感じています。

当日のあいさつでもお話しさせていただきましたが、主権者教育とは、単に「選挙に行くこと」を学ぶものではなく、自分たちが暮らす社会や地域の課題を自分自身の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動していくことにつながるものです。

今回の意見交換会が、皆さんにとって政治や議会、そして釧路のまちについて考えるきっかけとなり、これからも身近な地域や社会の出来事に関心を持つ一つのきっかけになれば嬉しく思います。

皆さんの率直な声を聞かせていただいたことに、改めて感謝申し上げます。

これからも、若い世代の皆さんの声を大切にしながら、「市民に開かれた議会」を目指して取り組んでまいります。

このたびは本当にありがとうございました。



松尾 和仁 議員（釧路市議会副議長）

まずは、今回の意見交換会が無事に開催されましたことに、心より感謝申し上げます。

限られた時間ではありましたが、釧路市の現状や課題、そして若者が将来に希望を持ち、元気に活躍できるまちづくりについて、さまざまな意見を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。



今回の意見交換会を通じて、議会の役割や市議会議員の仕事について、少しでも身近に感じ、関心を持っていただく機会となっていれば、大変うれしく思います。

今後も、このような学生の皆さんとの意見交換の機会を大切にし、若い世代の声をまちづくりに生かしていくことが重要だと感じております。貴重なご意見を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

板谷 昌慶 議員（議会広報広聴特別委員会委員長）

意見交換会へご参加いただき、ありがとうございました。

議会広報広聴特別委員会は、市民の皆様へ「開かれた議会」を目指し、活動しております。

議員の活動や市議会において協議されている事、課題などをわかりやすくお伝えできればと考える中で、昨年に引き続き釧路公立大学の皆さんと意見交換を行うことが出来て、大変勉強になりました。

地元出身の方もいましたが、多くは釧路市以外の学生さんが参加され、釧路市の新鮮な感想をお聞きすることが出来ました。また様々な課題もお聞きし、今後の議会活動に生かせる貴重なお話もいただきました。

釧路公立大学の皆さんとの意見交換会が継続できるよう協議をしていきますので、今後とも釧路市議会に関心を持っていただきますよう、お願いいたします。

皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



夏堀 めぐみ 議員（議会広報広聴特別委員会副委員長）

大学に入学してまだ数か月。

涼しい気候や自然の豊かさ、暮らしやすさなど、この街の魅力を感じてくれていることが伝わってきました。皆さんとお話しして、「釧路が好き」という言葉を聞いたことが、今日一番うれしかったことでした。

一方で、「ここがもう少しこうだったら」という率直な声も聞くことができ、私にとっても新しい気づきの連続でした。

私たち地域の社会人たちは、若い皆さんに地域の課題を押し付けてはいけなさと私は思っています。皆さんお一人お一人が大学生活を思い切り楽しみ、「釧路に来てよかった」「ここで過ごせてよかった」と思える時間が一つでも増えたら、それ



が何よりうれしいことです。

もし困ったことや、「こんなことをやってみたい」という思いがあれば、ぜひ気軽に声をかけてください。皆さんの挑戦を応援したいですし、一緒に実現できることがあれば協力したいと思っています。そして、もし機会があれば、地域の人たちとも少しでもいいので関わってみてください。

私は議員のお仕事をするようになって、よりこの街が好きになりました。

活動を通して、次の世代のため、大切な人たちのために、もがき苦しんだり、前向きに動いたり、手を取り合っている人たちと毎日出会い続けています。その一人ひとりを知るたびに、「この街っていいな」と思う気持ちが少しずつ大きくなっていきました。皆さんにも、大学生活の中でそんな出会いがあればうれしいです。

そして、皆さんだからこそ気づけることや感じるものがあれば、ぜひまた聞かせてください。

本当にありがとうございました。

また会える日を楽しみにしています！

松原 慶子 議員

私たち、市議会議員との意見交換会に参加していただき、ありがとうございました！みなさんから寄せられた率直なご意見、若い世代ならではの視点に、たくさんの気づきをいただきました！

「もっとこうなったらいいな！」「ここが不便に感じているな・・・」



みなさんが普段感じている一つ一つが、リアルな釧路の姿だと感じました。

議会と生活、どこか関係のないもののように感じていたかもしれませんが、決して遠いものではありません。

今回の意見交換会をとおして、議員や市政、まちづくりを少しでも身近に感じていただくきっかけになれば、とてもうれしいです！

これからの大学生活の中で、たくさん学び、多くの方々と出会い、様々な経験を重ね、日本の未来を担う大人材に成長されること、心から願っています。

出会った先生や友人は一生の宝になります。どうかその出会いを大切に！

どこかで私たち議員を見かけたら、声をかけてくださいね（笑）

応援してます！がんばれ～～～～！

藤井 若菜 議員

釧路の若者の一角を担う公立大学の皆さんによって、真の課題把握となった意見交換になりました。

バスのニーズ違いは単なる不便さではなく、行動圏の制限や体験機会の喪失に直結していると感じます。また、娯楽施設の要望も、本質は「仲間と集まれるサードプレイス（居場所）」がないという本質を感じさせてくれました。

釧路での4年間で実感できる居場づくりが急務だと再認識しました。ありがとうございました。



小山 秀人 議員

お忙しい講義や学生生活の合間を縫って、私たち釧路市議会議員との意見交換会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

皆様からいただいた「学生生活のリアルな声」や「釧路のまちづくりに対する新鮮なアイデア」、そして課題に対する率直なご意見の数々は、私たち議員にとっても大変大きな気づきと刺激になりました。

大学時代という貴重な時期に、自分が住む・学ぶ地域社会に関心を持ち、真剣に意見を言葉にしてくださったことを心から頼もしく、また嬉しく思っております。皆様がこの釧路で学び、暮らし、未来を模索している姿そのものが、この街の大きな財産です。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の議会活動や市政への提言にしっかりと活かしてまいります。

これから皆さんが歩まれる道が、実り多き素晴らしいものとなりますよう心より応援しております。学業や就職活動などでお忙しい日々が続くかと思いますが、お体に気を付けて学生生活を満喫してください。

改めまして、素晴らしい時間を共有していただいたことに感謝申し上げます。



草島 守之 議員

大学生の目線にそった声や特に道外から来鉦された若い方々との意見交換は大変有意義でした。

その内容はサイゼリヤなどファミレスの少なさ、市内バスの利用にあたって料金が低い、大学割はできないか、鉦路空港路線を公立大方面に拡大してほしい、Suica カードの普及、そして一番盛り上がったのは週末の金・土曜日の深夜バスの運行（１～２時台）では歓楽街に出て（アルバイト、遊び）帰りの安価な手段として、限定でよいので実現できないか。そこで学生達の利用実態把握を学生にお願いし、お互いに検討することとなりました。つづいて、

- ① 地元出身の学生から総合エンターテイメント「ラウンドワン」の誘致はできないか
- ② 広島出身の学生はなぜ市内にパチンコ店が多いのか
- ③ 長野出身の学生は鉦路市に関わるＪＲ赤字路線はどうなっているのか

の声に私達から現況と今後の見通しについて説明を行い、発信者をはじめ参加学生に理解をいただき、ホットした一時となりました。



村上 和繁 議員

市議会議員との意見交換会に参加いただきありがとうございます。貴重な意見をお聞きできました。地方自治体の本旨である福祉について、多くの学生が前向きな関心を持たれていることが知れて、心強く思いました。また、私たちのお伝えしたいことをどう学生のみなさんにお知らせできるか、アドバイスもいただけて、参考にさせていただきたいと思います。



一年生の方が多かったようです。新しい土地での生活は不慣れで、市政や議員に聞きたいこと言っても、なかなか答えづらかったと思います。大学生活も進む中で、これは不便、困っているということがあれば、ぜひ声を上げてください。一緒に解決できることがあるかもしれません。

卒業後、鉦路にずっと残る人も、ふるさとに就職する人も、別なまちを選ぶ人もいます。どこに行かれても、幸多い人生をお過ごしください。

宮田 団 議員

今回の意見交換会を通して、全国各地から釧路公立大学に学生の皆さんが集まり、それぞれの経験や視点を持って釧路で学んでいることを、改めて実感しました。

特に印象に残ったのは、「地域のために何かしたい」「ボランティアに参加してみたい」という思いを持っている学生の皆さんがいたことです。決して大きな人数ではなくても、そうした気持ちを持っている若い皆さんがいることは、これからの釧路のまちづくりを考える上で、とても心強いことだと感じました。

また、町内会活動への参加や、地域の方々と一緒にまちづくりを考えてみたいという声があったことも、大変うれしく思いました。地域活動の担い手不足が課題となる中で、若い世代が地域とつながるきっかけを、私たち大人の側もしっかりつけていく必要があると感じています。

そして、釧路以外の地域から来た皆さんだからこそ気づく、「釧路のここが良い」「ここは少し不便」「こんなところが魅力的」といった率直な意見も、とても新鮮でした。

私たちが長く釧路で暮らしていると、当たり前になってしまっていることも、外から来た皆さんの目には違って見えます。そうした新しい視点は、釧路の魅力を再発見するとともに、これからのまちづくりを考える上で、大切なヒントになると思います。

学生の皆さんには、ぜひ「釧路で学んでいる」だけでなく、「釧路で暮らしているからこそ見えること、感じること」を大切にしてほしいと思います。

皆さんの声やアイデアが、釧路のこれからをつくる力になります。私たちも、学生の皆さんと一緒に、若い世代が地域とつながり、住民として、また一人の市民としてまちづくりに関われる釧路を考えていきたいと思っています。



河合 初恵 議員

意見交換会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

当日は、皆さんの生活圏である釧路公立大学周辺の交差点の信号機や街路灯など、日頃の生活に身近な課題についてご意見を伺い、情報を共有させていただくことができました。

また、公共交通については、現時点ではSuicaへの対応は難しい状況ですが、利用額の一部が釧路市に還元される「くしろWAON」についてご紹介させていただきました。

釧路市には公立大学をはじめ、北海道教育大学釧路校や釧路工業高等専門学校など、多くの学生が学ぶ環境があります。一方で、それぞれの学校や学生同士、さらには地域との連携には、まだ大きな可能性があると感じています。

地方都市である釧路市は、大都市とは異なり、一人ひとりの行動やアイデアがまちづくりに反映されやすいまちだと私は思っています。

だからこそ、学生の皆さんにも「住みよい釧路」を一緒につくる仲間として、行政や議会へ積極的に提案をいただき、まちづくりに関わっていただければ大変嬉しく思います。

貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。



木村 勇太 議員

意見交換会にご参加いただき、誠にありがとうございました。

皆さんからいただいた率直なご意見やご質問、そして釧路の将来についてのお話を伺うことができ、私にとっても大変有意義で楽しい時間となりました。

学生の皆さんならではの視点や発想には多くの気づきがあり、改めて学ばせていただく場面もたくさんありました。皆さんからいただいた声は、これからのまちづくりを考える上で、とても大切なものだと感じています。

限られた時間ではありましたが、今回の意見交換会を通して、市議会や市議会議



員を少しでも身近に感じていただけたなら、とても嬉しく思います。そして、これをきっかけに、釧路のまちや市政に少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

皆さんの声をこれからの議会活動にしっかりと生かし、より魅力ある釧路を目指して取り組んでまいります。

大学生活は、新しいことに挑戦し、多くの人と出会い、自分自身を大きく成長させることのできる貴重な時間です。どうか一日一日を大切に、それぞれの目標に向かって充実した学生生活を送ってください。

皆さんのこれからのご活躍を心より応援しています。

このたびは、本当にありがとうございました。